茅ヶ崎の NPO と市民活動を支援する情報紙

Chigasaki Sapocen Newsletter

さぽせんニューズレター

2014年冬号
Vol.39

CONTENTS

P. 2　【ＮＰＯ講座】「広報のコツ」、「情報セキュリティの達人に学ぶ！」

P. 4　【よるカフェ】「スマホ」、「寄付」、「マンション防災」

P. 6　【総合学習支援】「ボランティア塾 in 鶴嶺高校」、「松林中学校ボランティア講座」

P. 7　さぽちゃんポスト～切手寄贈プログラム～、市民活動げんき基金

P. 8　ちがさき市民活動サポートセンターからのお知らせ

NPO 講座

このプロジェクトでは、市民活動団体の組織運営に役立つ知識やスキルを学ぶことができます。

講師：**坂田　静香**さん
（ＮＰＯ法人男女共同参画おおた理事長）

日時：11/10(日)14：00～16：00
場所：ひらつか市民活動センター
参加：41 名
共催：ひらつか市民活動センター
　　茅ヶ崎市民活動サポートセンター

活動の魅力伝える　～ 団体力を再発見！

広報のコツ講座

参加者満足度 94%!! 大人気の「行列講座」

「もっとたくさんの人に自分たちの活動を知ってほしい」「思わず手にとりたくなるチラシがつくりたい」という個人・団体が、企画の練り方からタイトルのつけ方、言葉遣い、デザインに至るまで、チラシづくりの極意を学びました。

さらに、グループワークや具体例（ダメダメチラシと Before After チラシ集）をもとに、企画力や広報力を磨くため、今すぐできるポイントも伝授いただきました。

講座の最後は参加団体のチラシや HP へのアドバイスなど、改善に向けたヒントが満載！広報のコツが凝縮された 2 時間となりました。

ターゲットの心に響く言葉で“ウリ”を表現しよう

ところで、みなさんはパンフレットやＨＰをつくるときに、どんなことを意識していますか？

まず始めに考えてほしいのは、団体の価値や魅力を「誰にどんな目的で伝えるのか」ということです。

例えば会員を増やしたい場合、どのような人にメンバーになってほしいかイメージすることが必要です。― 団体活動に従事してくれる人、実務担当者、一緒に活動を楽しむ人―。また、活動を支えてくれるボランティアがほしい、寄付者を募りたいなど、目的によって記載する内容や言葉遣いなど表現も大きく変わってきます。

つまり、自分たち団体の“ウリ”が何かを知り、ターゲットを絞り、その人の心に響く言葉と表現で伝えることが大切です。

担当者の熱意と努力も大切

私たちサポセンスタッフも、さっそく今後のイベントに向けて、チラシ改定や企画内容の見直しに取り組みました。

「もっとたくさんの人にこの情報を届けたい」
「今回のターゲットには○○という表現の方がわかりやすい」

想い溢れるチラシを手に、スタッフの PR 活動にも自然と熱がこもります。「私たちの企画したイベントにぜひ参加してほしい！」

テクニックも必要だけれど、なんといっても、最後は、担当者の“熱意”と“努力”あるのみ！

参加者の声

▷「資料や例がとても具体的でわかりやすく、自分が作ったチラシの改善点が見えた」
▷「魅力のないチラシを作ってしまいそうだったが、まさに目からウロコ、とても参考になった」
▷「相手の気持ちをキャッチできるアピールの仕方が大事なことがわかった」

チラシづくり、企画立案中の方、
「もっと具体的な事例を知りたい」
あなたにオススメ！

坂田さんの大人気著書
「人が集まる！行列ができる！
講座・イベントの作り方」
「人が集まるチラシの作り方」

今年度は**「広報」**と**「情報セキュリティ」**をテーマに開催しました。

情報セキュリティの達人に学ぶ！

楽しく安全にＰＣとインターネットを活用するポイント

講師：**会田　和弘**さん
（認定 NPO 法人イーパーツ
常務理事・事務局長）

日時：1/18(土)14:00～17:00
場所：茅ヶ崎市民活動サポートセンター
参加：30 名

みんなで「セキュろく」にチャレンジ！

「パソコンやインターネットについて理解を深めたい」「市民活動でもっと上手に活用したい」という個人・団体が、基本的な用語の解説から応用編まで幅広く学びました。

特に、パソコンの安全な利用方法や危険性について楽しみながら知識を身につけることができるすごろくゲームは大好評！

コマがとまる度にセキュリティに関するクイズ・解説があり、それぞれ獲得ポイントも数えながらゴールを目指しました。

参加者の声

▷「講師の方のお話がわかりやすく、勉強になりました。」
▷「とてもタメになりました。パスワードがいかに重要かもよくわかったので早速実行いたします」
▷「普通セキュリティについての講座はないので、非常に有効でした」

楽しく真剣に「パスワードづくり」

またウイルス・フィッシング詐欺・なりすましメールへの対策等の実践的なお話を聴き、理解を深めた他、参加者全員が安全なパスワードを考え、発表しあいました。

つくるときの３つのポイントは、
①自分なりのルールを決めて、
②数字・ローマ字・記号を組み合わせ、
③定期的に変更すること。
みなさんもぜひ設定してみてください！

広報講座で学んだことを実践！

【速報】茅ヶ崎の４団体に寄贈決定!!

～第９回かながわイーパーツリユース PC 寄贈プログラム～

市民活動団体の組織基盤強化・情報発信力 UP に向けて、企業提供のリユースPCを寄贈しています。(認定NPO法人イーパーツ協力)
第９回は県内合計 25 団体、茅ヶ崎は下記４団体に寄贈します。

・NPO 法人パーソナルサービスセンタートムトム
・茅ヶ崎録音奉仕会
・ちがぼ～（茅ヶ崎に冒険あそび場をつくろう会）
・NPO 法人フューチャー

講座テーマを募集します!!

NPO のファンドレイジング、労務、会計、プレゼンテーション、ファシリテーションなど、取り上げて欲しいテーマがございましたら、ぜひご提案ください。企画立案の参考とさせていただきます。

コンセプトは、よる＝夜～寄る～縁る～出会い、つながり、生まれる…はじまりのきっかけは、よるカフェ

「こんばんは。」２ヶ月に１度、夜の時間、サポセンの一番大きなフリースペースがカフェに変身！　これからなにか始めたい人たちが出会い、交流するプロジェクトです。

第２回 テーマ「スマホ」～ “市民活動”と“出会い”をひろげる交流会 ～

日時：10/25(金)18：00～21：00
参加：29 名
協力：ほかココロ

スマホでできることや便利アプリ、SNS を利用したコミュニケーションの広がりや楽しみ方について、パワーポイントや動画を用いてご紹介いただきました。

ゲスト：内野義生さん（地震津波防災警報スイッチオン！プロジェクト）

「これからスマホ」「もっとスマホ」のグループ別フリートークは大盛り上がり！

初心者のシニア世代からは、「理解できない言葉もあったが、スマホは便利であることがよくわかった。」「買ってみたが使えないスマホに少し近づけた。」など、非常に勉強になったとの声を多数いただきました。

日常的に使いこなす大学生からは、「スマホをきっかけに違う世代の方々と交流できてとても楽しい時間を過ごすことができた。」「自分の持っている知識で少しでも役に立てて嬉しかった。」などの感想が寄せられました。

第３回 テーマ「寄付」～ 使わなくなった宝物がもう一度輝く方法 ～

日時：12/20(金)18：00～21：00
参加：24 名
協力：ほかココロ

思い出と一緒に「寄付」という形で

押入の奥で眠っている、使わないけれど捨てられないもの―例えば、昔集めていた切手のコレクションや海外旅行で持ち帰った外国のコイン、子どもが幼い頃使っていた文房具など。そんな思い出がいっぱい詰まった宝物を、もう一度輝かせるアイデアについて語り合いました。

ゲスト：
山本高大さん（NPO 法人セカンドブックアーチ）
重田扶美子さん（NPO 法人 WE21 ジャパンちがさき）
菊池恵子さん（サポート YOU）

託された思いを胸に活動中

ゲスト３名は寄付品を役立てる活動を行っています。それぞれ古本・洋服・雑貨・着物など扱う物は違っても、寄付いただいた方の思いをとても大切にしている気持ちが伝わってきて、心温まるお話ばかりでした。

また、これまで当センターに寄付されたグラスや暗幕、椅子、文房具など様々な寄付品を、利用者の方々に提供し活用している事例も紹介しました。

外国コイン(7Kg)はカンボジアでの支援活動に

「カフェに参加できないけれど役立てて」と、多くの方からご寄付いただきました。近くに両替できるところがなく、行き場を失っていた珍しいコインの数々に、参加者は興味津々。日本国際ボランティアセンターに寄付し、役立てていただくことになりました。

ご寄付ありがとうございました！

第４回 テーマ「マンション防災」～現代タテ長屋組の防災対策 おたくのマンションどうしてる？ ～

日時：2/21(金)18：00～21：00
参加：24 名
共催：ちがさき駅前ひろば

戸建てとは異なる防災対策について、災害発生時の困りごとや緊急時の備えは大丈夫？管理組合や自治会にお任せではなく、自分たちで何とかしようと立ち上がった「ちがさき駅前ひろば」のオリジナル企画です。

宇田川栄子さん
（ちがさき駅前ひろば）

建物の構造を考えながら
今、一番気になることを話し合う
テーブルワーク。

介護やアウトドア製品として人気メニューのお粥や味噌汁、牛丼等を試食して、家庭内流通備蓄(日頃の食卓で食べながら買いたす）の必要性にも気づきました。

タテ長屋の備えベスト３は、
飲料水、食料、トイレ＆トイレットペーパー。

宮田工業のお酢ベースで安心な「家庭用消火器キッチンアイ」で初期消火の重要性も実感しました。

さらなる防災意識の高まりに向けて

コミュニティが希薄になりがちな駅近マンションが増えている茅ヶ崎。より安心・安全に暮らすために、「マンション防災」が全市的な取り組みになることを願っています。

参加者の声

▷同じマンションでも、自治のあり方や防災対策まで様々だということを知った。防災のみならず、自分の住まいのあり方をもう１度考えたい。

▷市内のマンションのネットワークを作る前提として、これからも勉強会の形で続けて欲しい。

募集中 !!
よるカフェ(偶数月の第３金曜日頃予定) 市民活動団体からの企画

サポセン夜の時間帯を使って、団体が主催するイベントを開催してみませんか？
企画・広報・当日の運営などを全面的にサポートします。
誰もが気軽に参加でき、みんなで楽しめる、わくわく企画をお待ちしています♪

ボランティア塾 in 鶴嶺高校

11/22（金）13:20～15:05
参加：1 年生 360 名
全体学習講師：益永律子センター長

テーマは“災害”———市民活動団体が講師となり、総合学習の一環として授業を行いました。5 年目を迎えたこの取り組みは、高校生がボランティアや進路を考える際に自分を見つめ直す貴重な機会となっています。

前半の全体学習は体育館にて DVD を上映。現 3 年生 21 名が 2 年前のボランティア塾をきっかけに、「南三陸に笑顔を届ける交流バスパック（主催 TAJ）」に参加したときの写真とインタビューをまとめたものです。先輩たちが南三陸町の高校生と共に仮設に住む方たちを元気づけた様子に、生徒たちもボランティアを身近なものと感じてくれたようでした。

後半は各教室に分かれ、それぞれが希望する団体の授業を受けました。

「わーく」編集部

学生リーダー塾HILS

Team Aid for Japan ～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア、「わーく」編集部、学生リーダー塾 HILS、地震津波防災警報スイッチオン！PJ、アートケアひろば、ヒロシマを語る会、ミクシテ「ちがさき男女平等参画プラン」を推進する会、茅ヶ崎・宮澤賢治の会、茅ヶ崎市聴覚障害者協会／茅ヶ崎手話サークル松の会、筆記通訳サークル「虹」、NPO 法人発達サポートネット バオバブの樹、どんぐりさんの音のひろば、湘南谷戸の会、三翠会（参加 14 団体・順不同）

・ボランティアはさせられることではなく“自らがすること”という意味がとてもわかった。ボランティアさせられても、相手に元気を与えられないと思った。
・先輩が、自分がやりたいことをしっかりできて、人のために全力をつくしていた。自分もそうできるようになりたい。

～高校生の声～

・“障がいのある子”ではなく、同じ人間だから誰とでも平等に接することのできる人になりたい。
・都合が良い時に手話通訳がいる訳ではない。ジェスチャーや表情で通じることもある。大切なのは言葉ではないのかもしれない。
・“ガレキ”が自分たちの大切な物だった、ということがとても衝撃だった。
・原爆は被災者だけでなく、たまたまその日学校を休んで生き残った人も、深い傷や悲しみを受けていることがよくわかった。

松林中学校ボランティア講座

ゲスト：おばんばやし ＆ NPO 法人一心一（いっしんよこいち）

2/20（木）9：00～10：00
場所：松林中学校体育館
参加：3 年生 189 名
講師：益永律子センター長

総合学習のテーマは「ボランティアとは？」

おばんばやしの美しいピアノの音色とともに始まった授業は、これまでの雰囲気とはどこか違う様子。
—— 見えないってどんな感じ？ —— 聞こえないって？
—— 目をつぶってみよう！ 耳をすますと、いつもより多くの音が聞こえる？
ピアノの旋律にのせて聴いた朗読は、感性豊かな中学生の心に深くしみたようでした。
そして“まねしんぼこぞう”。生徒たちの中に混じって笑わせながらの楽しいひととき。

続く一心一（いっしんよこいち）の加藤さんはパントマイムで登場。
ステージ中央に現れた瞬間、転んでゴミを撒き散らしてしまった・・・！
ホーキとチリトリを取り出し、華麗なる “おそうじパフォーマンス”を披露した後は、自身の体験談を語りました。
不登校だった中学生時代。強くなりたい思いを胸に一歩を踏み出した —。自衛隊入隊、ひとり歩きの日本一周、夢だったディズニーランドのカストーディアル。様々な経験と出会いの中で学んだ“感謝と思いやりの心”。 茅ヶ崎駅で清掃活動を続けながら、不登校・ひきこもりの支援活動をする加藤さんのお話は、卒業を控え不安な生徒たちに一歩前へ進む勇気を与えてくれたと思います。

最後は 5 人の先生が変装して登場。目がみえないってどんな感じかな？
—— 耳をこらすと、「雪が解ける音、鶯の鳴き声が聞こえる」と応える先生の素顔に、会場は大いに沸きました。色んな人の立場にたって視点を変えると、世界が広がり相手を思うことにも気づきます。先生たちが手にしていた 5 枚のカードをつなげると“selfesteem（自尊感情や自己肯定感）”。ありのままの自分を大切に思う気持ち、ここに自分らしさを大切にして意思を持つボランティアの原点があります。笑いの中に、かけがえのない存在である自分をみつけてもらえたことを願っています。

さぽちゃんポスト～切手寄贈プログラム～

家庭に眠っている未使用切手を集めて、地域の NPO に郵送費として寄贈する取り組みです。

「地域のために役立ててほしい」
…ご寄付、ありがとうございました!!

2013 年のちがさきサポセン☆ワイワイまつりでお披露目して 1 年…昔集めた切手、机の引き出しや本棚の隅にしまいこんだままになっていた切手を、のべ 31 名の方からご寄付いただきました。
額面 **28 万円**、約 **6,500 枚**（2014 年 1 月末現在）

今回は 15 万円分を寄贈登録団体に振り分けます。なお引き続き“未使用切手”のご寄付を受付中です♪

審査会にて、寄贈 11 団体が決定!!

ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト、
柳谷の自然に学ぶ会、茅ヶ崎地区自閉症児・者親の会、
NPO 法人ウェルフェアポート湘南、つなぎの会　茅ヶ崎、
NPO 法人 paw pads、NPO 法人 WE21 ジャパンちがさき、
湘南あゆみの会、茅ヶ崎良い映画を観る会、おばんばやし、
NPO 法人湘南ふくしネットワークオンブズマン

日時：2/13(木)13:00～14:30
場所：茅ヶ崎市民活動サポートセンター
審査：茅ヶ崎郵便局職員を含む 5 名

寄贈式　3/8（土）12:00～12:10　中央公園（ちがさきサポセン★ワイワイまつり ステージ）

市民活動げんき基金助成制度

茅ヶ崎市市民活動推進条例に基づき、市民のための公益的な事業を財政面で応援するしくみです。
平成 26 年度の実施分は 2014/1/7(火)～2/12(水)に募集され、13 団体が提案・申請しました。

	スタート支援	ステップアップ支援
助成目的	活動を軌道に乗せる	活動の拡充・発展を図る
対象	○主に市内で活動している　○3 人以上で構成され、構成員の 1/2 以上が市内在住・在勤・在学者　○不特定多数の市民を対象とした公益的事業　○市から事業にかかる補助金を受けていない等の要件を全て満たす市民活動団体	
	本制度による助成を受けたことがない団体	スタート支援を受けたことがある団体 または設立後 2 年以上の団体
補助金額	対象となる事業に要する経費の 90% または 10 万円のいずれか低い方を上限	対象となる事業に要する経費の 80% または 60 万円のいずれか低い方を上限
その他	同一団体への助成は 1 回限り	同一団体への助成は 3 回まで(年度ごとに審査あり)

制度に関するお問い合わせ：市民自治推進課 協働推進担当　☎82-1111(代)、市民活動サポートセンター ☎88-7546

平成 26 年度実施　提案 13 団体一覧

【スタート支援】**3** 団体
地震津波防災警報スイッチオン！プロジェクト
アロハちがさき〈松籟〉、
みて！きいて！うたう！たのしい音楽会の会

【ステップアップ支援】**10** 団体
NPO 法人 SUERTE、虹の丘おやじの会 RAM、
イーハトーブ湘南、湘南 artTV 制作「湘南 SHOW 点」
NPO 法人 paw pads、みんなのサロン「和」
歌声サロン「チーパッパ」、NPO 法人湘南芸術研究所
茅ヶ崎・浜景観づくり推進会議（はまけい）、
Team Aid for Japan～しょうなん茅ヶ崎災害ボランティア

提案団体による公開プレゼンテーション　3/15(土)9:30～　市役所分庁舎 6 階コミュニティホール

貸出パソコン、印刷機をリニューアル！

Windows8.1 を導入！

WindowsXP、Office2003 のサポート終了に伴い、館内利用のノート PC を新機種にしました。

OS	Office	台数
Windows 8.1	2013	4
Windows 7	2013	2

待望の「赤インク」が仲間入り！！

５色（黒･赤･青･緑･茶）を使った印刷が可能に…！より魅力的なチラシ・広報紙づくりをサポートします。

印刷機	インク	プリント機能
Duplo	黒、赤、緑、茶	１色刷り
MD	黒、青	２色同時刷り可

市民活動データベース登録 ～基礎情報の発信で信頼アップ～

新規登録

随時受付中です。ご希望の団体は、登録用紙に必要事項をご記入の上、窓口にご提出ください。なお登録用紙はホームページからもダウンロードできます。

登録内容の変更

代表者や連絡先など、登録内容を変更した場合は、必ず変更届をご提出ください。

2014 年度版ちがさき市民活動ガイドブック作成に向けて、現登録内容の確認資料を 4 月以降代表者の方にお送りします。ご協力よろしくお願いいたします。

消費税増税に伴い、利用料金等を変更します

4/1(火)以降、印刷機・コピー機・用紙等の利用料金を変更いたします。詳細は、館内掲示・ホームページ等にてご案内します。ご理解・ご協力よろしくお願いいたします。

― 『ほか・ぽか』終了のお知らせ

3/31(月)にて、地域サポーター「ほかココロ」による、珈琲・クッキー支援販売を終了します。

2012 年 11 月からの約 1 年半、多くの皆様のご利用により、障がいがある人たちの社会参加に向けて、支援の輪がひろがりました。ご愛顧誠にありがとうございました。

ちがさき市民活動サポートセンターとは

市民活動団体や NPO、ボランティアなど、非営利で公益的な活動をしている人たちや、これから活動しようと考えている人たちの拠点施設です。

開 館 時 間

９:３０～２１:３０

休 館 日

毎月第３水曜日、年末年始（12/28～1/3）

住所・連絡先

〒253-0041　神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎 3-2-7
ＴＥＬ/ＦＡＸ:　0467-88-7546
Ｅ メ ー ル:　s-center@pluto.plala.or.jp
ホームページ:　http://sapocen.net/

アクセス

JR 茅ヶ崎駅北口より徒歩１０分くらい
駐車場１０台程度

指 定 管 理 者

特定非営利活動法人 NPO サポートちがさき　　指定管理期間：2013 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日

さぽせんニューズレター2014 年冬号（2014 年 3 月 1 日発行）通算 39 号
編集･発行　特定非営利活動法人　NPOサポートちがさき　発行責任者　益永律子